



おうちで和食

発行 農林水産省
 企画・編集 合同会社五穀豊穰
 撮影 松園多聞
 取材・執筆 下村千秋、唐澤理恵
 デザイン 根本真路
 表紙撮影協力 マザーシップ船場保育園
 校正 平元沙恵子、井畑学
 印刷・製本 株式会社美松堂

子育て・若者世代への和食文化普及推進検討会
 一般社団法人 日本家政学会食文化研究部 会長 大久保洋子
 東京家政学院大学 現代生活学部 健康栄養学科 教授 酒井治子
 社会福祉法人ユーカリ福祉会 市川保育園 園長 齋藤武
 船橋市 健康政策課 管理栄養士 小林亜也子

農林水産省「食文化」web サイト
<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/>

授業を行いました。もうひとつは、若手社会人への取組。民間企業にご協力いただき、20歳代、30歳代の若手社員を対象に、和食献立の調理実演や、普段の食生活に和食を取り入れる方法についてのディスカッションを実施しました。仕事に追われて忙しい日々の中でも、栄養バランスの取れた食事を心がけ、季節を感じながら豊かな食生活を送ることの大切さを伝えました。

これからも自治体はもとより、大学や企業、地域の食育団体など、様々な関係者と連携しながら、日本人の伝統的な食文化である「和食」を、次世代に繋いでいきたいと考えています。

本事業では、北海道から沖縄までの全国9地区において、子育て世代のパパ・ママやその世代に接点のある専門職の方々を対象としたワークショップを開催し、和食の良さを伝えてきました。ご参加いただいた皆様は、それぞれの課題にまっすぐに向き合ってください、その先には子どもたちが心豊かに育ち、和食文化が受け継がれていく風景が見えました。

このほかにも、若者世代を対象に2つの取組を行いました。ひとつは栄養士を目指す学生への取組です。東京家政学院大学のご協力のもと、将来栄養士として様々な現場で活躍する学生を対象に、和食の講義や調理実演、さらには学生自らが「和食の良さを伝える食育」を企画立案するという実践的な

次世代に繋げる「和食」



おうちで「和食」をひろめよう